

マリレジャー安全レポート

第32号(平成20年3月)

第七管区海上保安本部
マリレジャー安全推進室
TEL 093-321-2931
E-mail:kyuunan-7@kaiho.mlit.go.jp



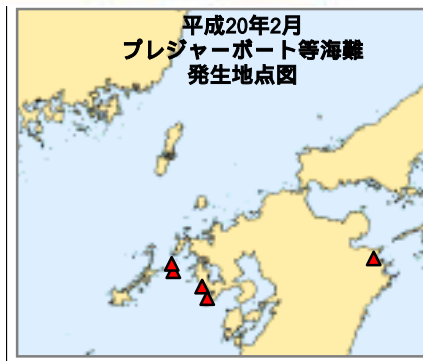
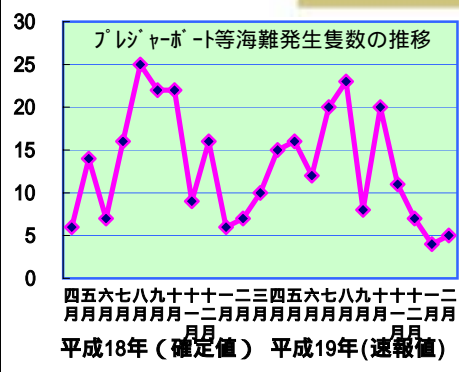
安全な磯遊びをしましょう!

平成20年2月 プレジャーボート等 海難発生隻数	
合計 5隻	
衝突	2
乗揚	0
転覆	0
浸水	1
推進器障害	1
舵障害	0
機関故障	1
火災	0
爆発	0
行方不明	0
運航阻害	0
安全阻害	0
その他	0

唐津市唐津港の大島船だまりで、2月20日、唐津市在住の事故者Aさん(68歳)は、午後2時30分頃から防波堤の基礎石部分でわかめを採取していましたが、突然めまいを感じ、海面に倒れこんでしまいました。水深が膝上程度で浅く、自力で防波堤の基礎石部分まで這い上がることができたため、その後も濡れた着衣のままわかめ採取を続け、午後2時40分頃、今度は足を滑らせ、胸程度の水深の場所へ落ち込んでしまいました。偶然通りかかった瀬渡船がAさんを救助し、瀬渡船船長が危険なので帰るよう促したものの、Aさんは忠告を無視し再びわかめ採取を続けました。その結果、午後2時55分頃、Aさんは寒さで体が動かなくなり、さらに水深の深い場所にすべり落ち、頭まで海中に没してしまいました。たまたまAさんのことを気にかけていた瀬渡船船長がすぐに気づき、再びAさんを救助し、救急車に引き継ぎました。Aさんは病院に運ばれ、低体温症になっていたものの、幸運にも入院の必要はない程度ですみました。



～事故からの教訓～
事故者Aさんは1回救助され、忠告を受けたにも係わらず、その忠告を無視し、濡れた着衣のまま真冬の海に浸かり続け、体温を奪われた結果、体の自由が利かなくなり事故に繋がったものです。人間の体は、体温が低下すると正常な機能が保てなくなり、非常に危険な状態となります。ちなみに海水温度15では、海水に入ると同時に体に「ふるえ」を感じ、約10分間で体の表面の温度は海水温度近くに低下します。冷たい水が人間の体に及ぼす影響を軽視せず、安全な磯遊びをしましょう。



レジャーシーズンに向けてボートの整備を!!

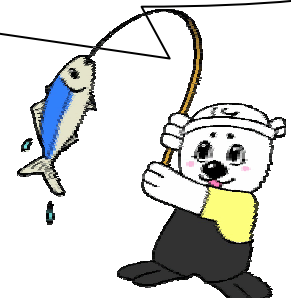
啓蟄も過ぎ、そろそろ船釣りの虫もうずうずしだす頃ではないでしょうか。冬場長期係留していたボートを安全・快適に使用するためには、シーズン前の整備が重要です。特に長期係留前に整備を行っていなかった船については、念入りに整備しましょう。

船体
船底バルブの点検。ドレンプラグの点検。艀装品の点検。保護垂鉛の点検など。

電気関係
バッテリーの点検。電装品の点検。灯火の点検など。

エンジン関係
オイルの点検・交換。フィルターの点検・交換。冷却海水の循環確認。各種部品の締め付け確認など。

燃料関係
燃料ホースの点検。濾し器の点検・清掃。燃料の交換など。




冷却や燃料系統のゴムホースが経年変化で硬化していませんか? 硬化していると思わぬ事故につながる可能性があります。実際に触って点検してみてください。

海の相談室だより (七管本部海洋情報部)

私はどこ 2(に)? 前回の「船位の求め方」についてのつづき

「誤差を少なくするために」今回の話題は、目標の選び方です。
海図上の位置が確かなもので測定する。


防波堤など陸部
に立つ灯台


海部などに立つ灯標


煙突


無線塔 など



浮標など位置が定まらないものは避ける。
(浮標の形によって記号が違います。記号の下のRは赤(Red)、Gは緑(Green)の略です。)



視認しにくいもの、傾斜が緩やかな岬など不明確なものは避ける。

「位置の線」が2本の場合は90度近くに、できれば30～150度の範囲で測定する。
3本の場合は、それぞれが60度近くで交わるようにする。

なるべく近距離のものを選ぶ。遠方の物標ほど船位誤差に与える影響が大きい。

「風や潮流・海流で流されているとき」や「航走しているとき」はどうするの？
素早く測る必要があります。コツとしては、

- ・事前に、測る目標物とそのおよその方位を心に置いて実施する。
- ・変化の遅いもの(航走している場合は船首尾方向)を先に
- ・変化の早いもの(正横付近)を後に

そうです。慣れることが重要です。いつも船位確認を行って安全運航を心がけましょう!



2008年 潮干狩りカレンダー ができました。

第七管区海上保安本部「海の相談室」では、春から初夏にかけての潮干狩りシーズンに、安全に潮干狩りや磯遊びを楽しんでいただくため、それに適した日と時間帯が一目でわかる「潮干狩りカレンダー」を作成しました。インターネットウェブサイトダウンロードできますのでご利用ください。また、印刷物による提供も行っています。

1. 入手方法

- ・インターネットホームページ(<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN7/>)
- ・来訪(第七管区海上保安本部海の相談室窓口)
- ・郵送(80円切手を貼った返信用封筒(郵便番号・あて先を明記)を同封し「〒801-8507(住所不要)第七管区海上保安本部海の相談室」まで送付)

2. 提供期間

本年6月末日まで 問い合わせ先 電話 093-331-0033
電子メール sodan7@jodc.go.jp

プレジャーボート小型船用 港湾案内 がリニューアル

九州南西岸・東岸・南西諸島(与論島以北)H-809Wが刊行されました。小型船が利用する小港湾やヨットハーバーなど、海図では詳しく描かれていない港の目標・針路・障害物・マリーナ情報などを、図と記事で分かりやすく編集した参考図集です。

H20.2 B5版 多色刷り、価格 3,990円
発行者 (財)日本水路協会(<http://www.jha.jp/>)

